

# 水産業再生ニュース(第 3 号)

平成 26年 6月12日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 宮城県内の水産物の放射能測定結果について

- 1 測定年月日 平成26年5月7日～平成26年6月10日
- 2 測定分析機関 (一財)日本食品分析センター, (公財)海洋生物環境研究所, (一財)宮城県公衆衛生協会, (株)静環検査センター, (一財)日本冷凍食品検査協会, 東北緑化環境保全(株), (株)総合水研究所, いであ(株), (公財)日本食品分析センター, (株)環境総合テクノス, 宮城県。
- 3 測定結果

宮城県内で平成26年4月27日から平成26年6月6日に採取したコンブ(養殖), ヒラメなどの水産物295検体について, 放射能を測定した結果, 6月4～5日に測定した下記水産物について, 食品衛生法の規定に基づく基準値を超える放射性セシウムが検出されました。

検査品目	採取場所	測定値(ベクレル/kg)	対応状況
水産物	イワナ	三迫川支流新湯沢(栗原市)	平成24年5月24日付けで国による出荷制限指示済み。(養殖により生産されたものを除く)
	イワナ	三迫川支流新湯沢(栗原市)	

その他の検査品目について, 基準値を下回り安全性に問題のないことが確認されました。

## 2 仙山交流味祭に「宮城の海苔(のり)味くらべ」ブースを出展しました

・宮城の海苔のおいしさと, 産地による味の違いを知っていただくため, 仙台市青葉区の勾当台公園市民広場で, 6月4日, 5日に開催された「仙山交流味祭り」の一画をお借りして, 県内の生産地から7つの浜の自信作を一同に集め, 味くらべをしていただくブースを出展しました。

様々な風味, 食感の海苔が並ぶ中, やはり好みは人それぞれでしたが, 「あ, 違う」と, 浜ごとの味の違いを感じていただけた様子でした。併せて, 海苔養殖漁師さんが手がける海苔製品の直接販売も行いました。焼き海苔, 味付け海苔など, 様々な浜の見た目にも多種多様の製品, 10団体・のべ31種類が売り場を賑わし, こちらも大盛況のうちに売り切れ続出となりました。売る側の漁師さんも, お客様の生の声に触れ, 今後に手応えを感じていたようです。



### 3 4月の塩竈市魚市場の水揚げ状況

・平成26年4月の水揚量は、数量で864トン、金額では446,386千円で、前年同期と比較し、陸送で上場されるツボダイやキンメダイが減少したため、数量で654トン、金額でも292,244千円の減少となりました。



塩竈市魚市場水揚げ状況（平成26年1～4月累計）

区 分	平成26年		平成25年		対 比	
	数量（トン）	金 額（千円）	数量（トン）	金 額	数 量	金 額
1～3月の累計	3,207	1,690,672	3,055	1,736,012	105%	97%
（うち 3月）	（864）	（446,386）	（1,509）	（738,630）	（57%）	（60%）

・6月6日に旋網漁船で漁獲されたキハダマグロやカツオなど81t、29,333千円が水揚げされました。今後の水揚げが期待されます。

### 4 震災復興関連事業の実績について（その3）

#### ○中小企業等グループ施設等復旧整備事業

・被災した県内中小企業等の復旧と復興を促進するため、中小企業等グループの復興に要する施設及び設備に対する支援を行うものです。水産漁港部では、①サプライチェーン型②経済・雇用効果型③地域に重要な企業集積型④水産（食品）加工類型⑤商店街型の各機能を有する中小企業のうち、④水産（食品）加工型のグループ参加企業の指導及び事業履行確認調査等を実施しており、平成23年度から25年度までの実績は下記のとおりです。

#### ○水産（食品）加工類型グループの実績（仙台地方振興事務所水産漁港部管内分）

区分	グループ名称	企業数 (A)	交付決定額	完了企業 数(B)	補助金支出額	進捗率(B/A)
2次	塩釜水産加工業G	46	2,842,948	43	2,115,955	93
3次	閑上水産加工組合	10	1,146,653	10	1,139,273	100
6次	塩釜水産加工業復興G	41	2,825,381	29	1,178,142	71
6次	ゆりあげ港朝市	1	102,820	0	0	0
合 計		98	6,557,802	81	4,442,034	83

（単位：千円，％）



修繕した加工場



新築した倉庫



整備した加工機器類